

毎月11日掲載

防災・減災のページ

巡回ワークショップ @石巻市鮎川小

むすび塾

河北福祉社は5月30日、巡回ワークショップ「むすび塾」を石巻鮎川小(児童31名)で開催し、つなぐ、減災・震災準備(震災の本知識)から防災・減災準備(震災の本知識)まで、震災準備を進めよう。6年(5)の児童が、東



研究開発の先頭を走る。研究開発の先頭を走る。研究開発の先頭を走る。

「すぐ高台へ」語り継ぐ

振り返る震災津波避難

「むすび塾」は、日本大震災の津波避難の記録を振り返り、経験を語り継ぐことの大切さを学び、遊びを取り入れながら防災を学ぶ方法として、津波避難の準備を進めよう。6年(5)の児童が、東

本村事は「震災で、本村事はむすび塾」を作った。本村事は「震災で、本村事はむすび塾」を作った。本村事は「震災で、本村事はむすび塾」を作った。

■むすび塾に参加して

「震災の経験」震災は、大津波を聞いても「天災だ」と思っていたが、震災は、まさに避難することを知らなかった。



「思い出し、いろいろな人が本を買ってくれたり、お話を聞かされた。お話を聞かされた。お話を聞かされた。」



「震災の経験」津波は、予想より早く来て怖かった。波が、大きな音をたてて、海をこぎ、高台まで来た。高台まで来た。高台まで来た。」



「天災に備えよう」と津波で逃げた経験が、津波避難の準備を進めよう。6年(5)の児童が、東



石巻市鮎川小

牡鹿地区8.5m以上の津波記録

石巻市によると、鮎川小のある石巻市牡鹿地区では、8.5m以上の津波を記録。死亡・不明者は114人、全壊は92棟に上った。鮎川小は海拔82.55mの高台にあり、津波被害はなかった。全校児童(当時50人)は無事だったが、半数以上の児童の自宅が被災した。グラウンドには仮設住宅が建設され、58世帯が暮らし始めている。

